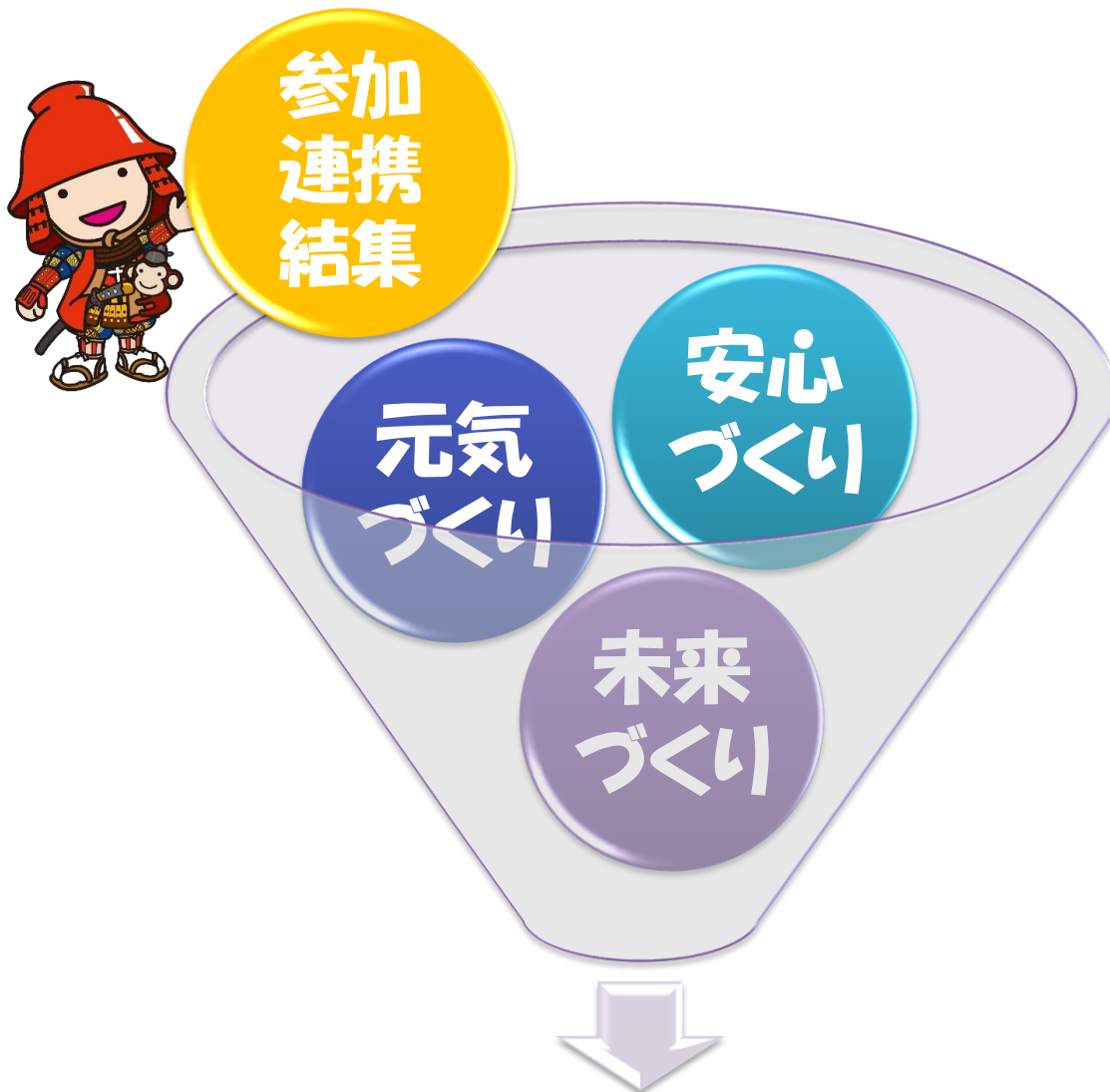


平成30年度 当初予算の概要

～暮らし満足“地固め”予算～



暮らし満足No.1のまち「中津」

中 津 市

平成30年度一般会計当初予算の概要

中津市総務部財政課
平成30年2月15日

1 予算編成の基本方針

- ① 「安心・元気・未来プラン2017」を着実に実行し、「暮らし満足」を向上・発展させていくための基盤づくりの強化
- ② 「平成30年度中津市政推進の基本指針」を策定し、その方向性に基づく施策の立案
- ③ 「中津市行政サービス高度化プラン」に基づく事務事業の最適化
- ④ 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭開催に伴う芸術・文化の振興

2 予算総額

国の施策により児童措置費等の扶助費が大幅に増加するとともに、「暮らし満足」の向上・発展に向けた新規施策を展開

公債費及び普通建設事業のうち補助事業が大幅に減額となったため、前年度に比べ減額となる予算を編成

当初予算額 40,746百万円（前年度比 △1,015百万円 △2.4%）

<参考> ㉔38,761 ㉕41,095 ㉖41,999 ㉗41,645 ㉘41,761

○人件費	7,471百万円	（前年度比 + 33百万円 + 0.4%）
○公債費	5,164百万円	（前年度比 △270百万円 △ 5.0%）
○扶助費	9,782百万円	（前年度比 +380百万円 + 4.0%）

（児童措置費	2,838百万円	（前年度比 +319百万円 +12.7%）
（障害者福祉費	1,925百万円	（前年度比 + 52百万円 + 2.8%）

○普通建設事業費 5,259百万円（前年度比 △966百万円 △15.5%）

（補助事業費	2,438百万円	（前年度比 △1,448百万円 △37.3%）
（単独事業費	2,463百万円	（前年度比 + 557百万円 +29.2%）
（国直轄・県営	358百万円	（前年度比 △ 75百万円 △17.3%）

3 主な歳入

順調な企業誘致などを反映し市税は増額となるが、地方交付税は地方財政対策での減額見込み及び合併特例措置の終了に伴い減額

財政調整基金は「暮らし満足」の向上・発展に向けた新規・拡充施策等の財源確保のため取崩し額を増額

○市	税	10,630百万円	(前年度比 +185百万円 + 1.8%)
○地方譲与税等		2,152百万円	(前年度比 + 84百万円 + 4.1%)
○地方交付税		10,526百万円	(前年度比 △758百万円 △ 6.7%)
○臨時財政対策債		1,360百万円	(前年度比 △ 24百万円 △ 1.7%)
○財政調整基金繰入金		1,127百万円	(前年度比 +192百万円 +20.6%)

4 主要施策

「安心・元気・未来プラン2017」を着実に実行し、「暮らし満足」を向上・発展させていくための基盤づくりの強化のため、「平成30年度中津市政推進の基本指針」を策定。その方向性に基づき、事業の新規立案及び拡充を行う。

平成30年度 中津市政推進の基本指針

- 【安心づくり】
- ・災害に強いまち・災害に強い地域づくり
 - ・中津市版包括ケアシステムの構築
 - ・データに基づく健康づくり
 - ・子育て2.0のまちづくり
 - ・誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
 - ・「安心」で繋ぐ地域づくり

「暮らし満足」を向上・発展させていくための基盤づくりの強化

- 【元気づくり】
- ・働き方改革による中小企業の人材確保・育成
 - ・ニーズに応える企業誘致
 - ・一次産業における担い手育成と収益性向上
 - ・山国川水系の上下流域を結ぶ観光振興
 - ・地域が主体となった移住支援
 - ・公民連携・政策間連携によるにぎわいづくり
 - ・「触れ合い」「親しむ」文化・スポーツ環境

- 【未来づくり】
- ・子どもの可能性を拓ける教育
 - ・地域で活躍する人材の育成
 - ・「環境共生都市なかつ」の推進
 - ・「命」と「くらし」を守り支える高速交通網の整備

新規事業 : 26事業 拡充事業 : 25事業

安心づくり

新規事業 : 12事業
拡充事業 : 10事業

元気づくり

新規事業 : 8事業
拡充事業 : 6事業

未来づくり

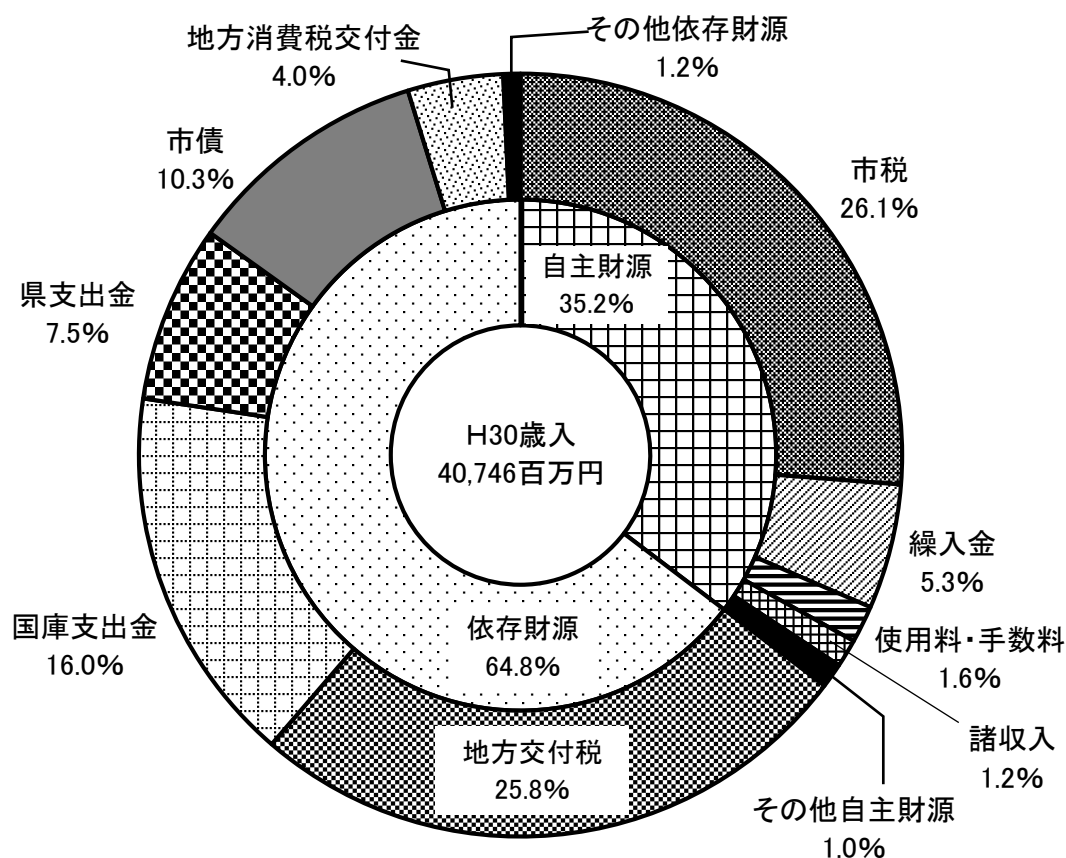
新規事業 : 6事業
拡充事業 : 9事業

平成30年度一般会計当初予算の状況

(1) 歳入

(千円、%)

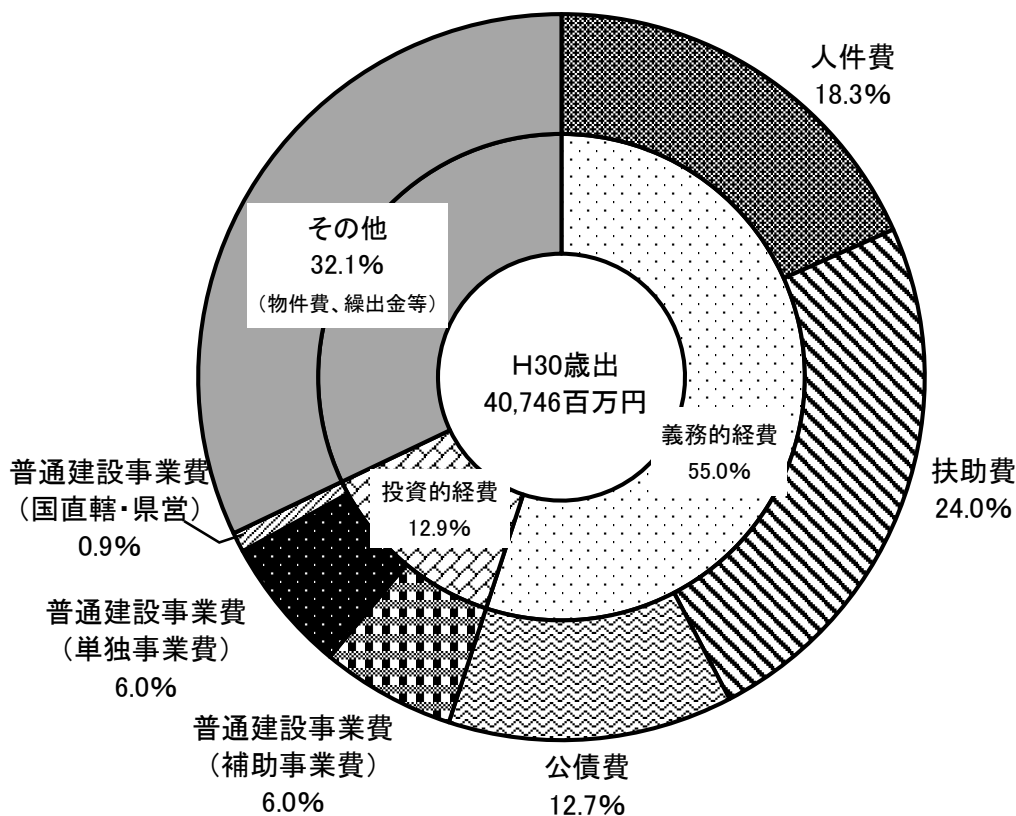
区 分		平成30年度		平成29年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
		予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
自主財源	市税	10,630,471	26.1	10,445,500	25.0	184,971	1.8
	分担金及び負担金	297,465	0.7	388,232	0.9	△ 90,767	△ 23.4
	使用料及び手数料	640,134	1.6	672,034	1.6	△ 31,900	△ 4.7
	財産収入	82,533	0.2	54,170	0.1	28,363	52.4
	寄附金	43,302	0.1	103,302	0.3	△ 60,000	△ 58.1
	繰入金	2,147,165	5.3	2,103,137	5.1	44,028	2.1
	繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸収入	478,805	1.2	428,484	1.0	50,321	11.7
小 計		14,319,876	35.2	14,194,860	34.0	125,016	0.9
依存財源	地方譲与税	293,200	0.7	285,051	0.7	8,149	2.9
	利子割交付金	14,854	0.0	9,937	0.0	4,917	49.5
	配当割交付金	31,635	0.1	30,254	0.1	1,381	4.6
	株式等譲渡所得割交付金	28,170	0.1	17,514	0.1	10,656	60.8
	地方消費税交付金	1,639,275	4.0	1,598,127	3.8	41,148	2.6
	ゴルフ場利用税交付金	6,811	0.0	6,551	0.0	260	4.0
	自動車取得税交付金	58,727	0.1	49,875	0.1	8,852	17.7
	地方特例交付金	64,551	0.2	55,504	0.1	9,047	16.3
	地方交付税	10,525,964	25.8	11,284,036	27.0	△ 758,072	△ 6.7
	交通安全対策特別交付金	14,671	0.0	14,671	0.0	0	0.0
	国庫支出金	6,511,274	16.0	6,907,486	16.6	△ 396,212	△ 5.7
	県支出金	3,047,251	7.5	3,200,503	7.7	△ 153,252	△ 4.8
	市債	4,189,800	10.3	4,106,300	9.8	83,500	2.0
小 計		26,426,183	64.8	27,565,809	66.0	△ 1,139,626	△ 4.1
合 計		40,746,059	100.0	41,760,669	100.0	△ 1,014,610	△ 2.4



(2)歳出

(千円、%)

区分	平成30年度		平成29年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
義務的経費	22,417,586	55.0	22,274,538	53.3	143,048	0.6
人件費	7,470,897	18.3	7,437,674	17.8	33,223	0.4
扶助費(※1)	9,782,382	24.0	9,402,203	22.5	380,179	4.0
公債費	5,164,307	12.7	5,434,661	13.0	△ 270,354	△ 5.0
投資的経費	5,259,059	12.9	6,224,834	14.9	△ 965,775	△ 15.5
普通建設事業費(※2)	5,259,055	12.9	6,224,830	14.9	△ 965,775	△ 15.5
補助事業費	2,438,650	6.0	3,886,235	9.3	△ 1,447,585	△ 37.2
単独事業費	2,462,690	6.0	1,905,501	4.6	557,189	29.2
国直轄・県営事業	357,715	0.9	433,094	1.0	△ 75,379	△ 17.4
災害復旧事業費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
その他	13,069,414	32.1	13,261,297	31.8	△ 191,883	△ 1.4
合計	40,746,059	100.0	41,760,669	100.0	△ 1,014,610	△ 2.4

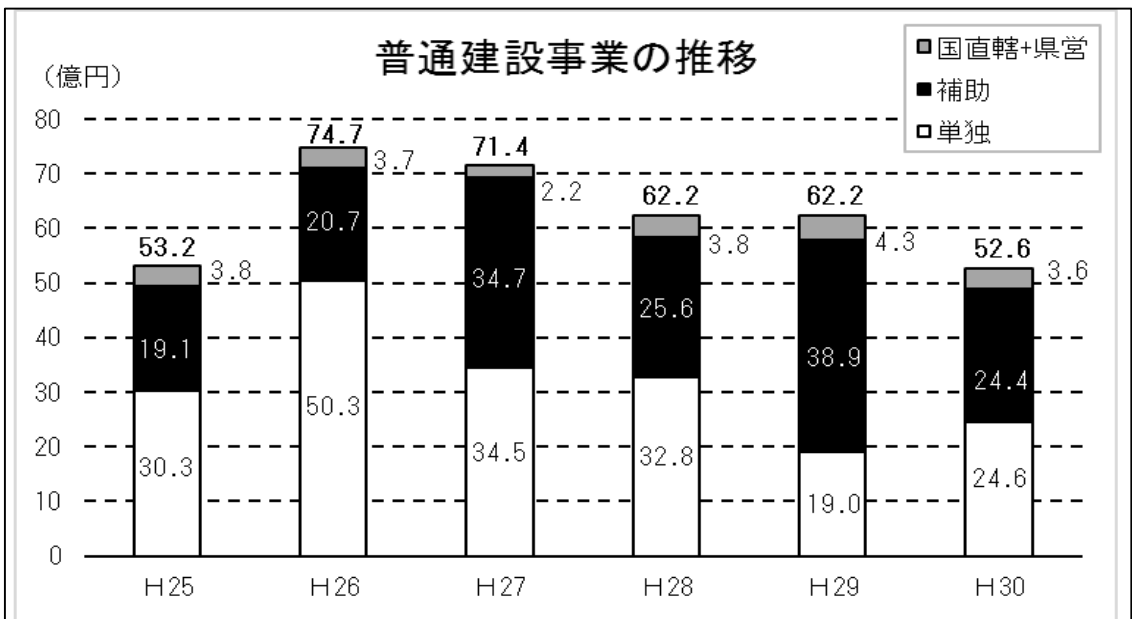
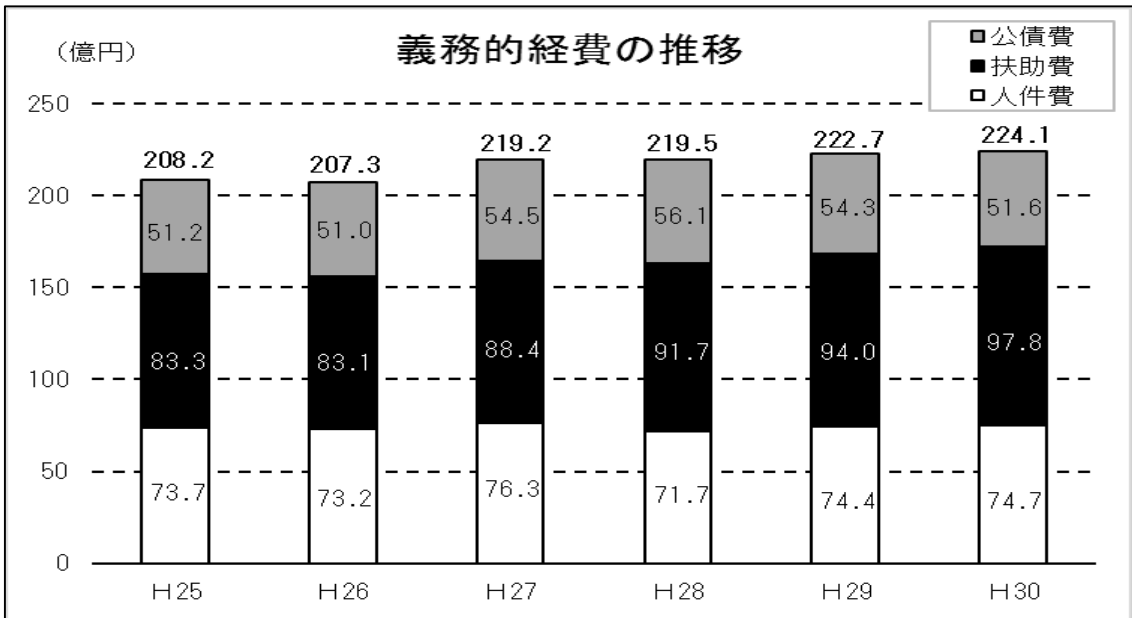
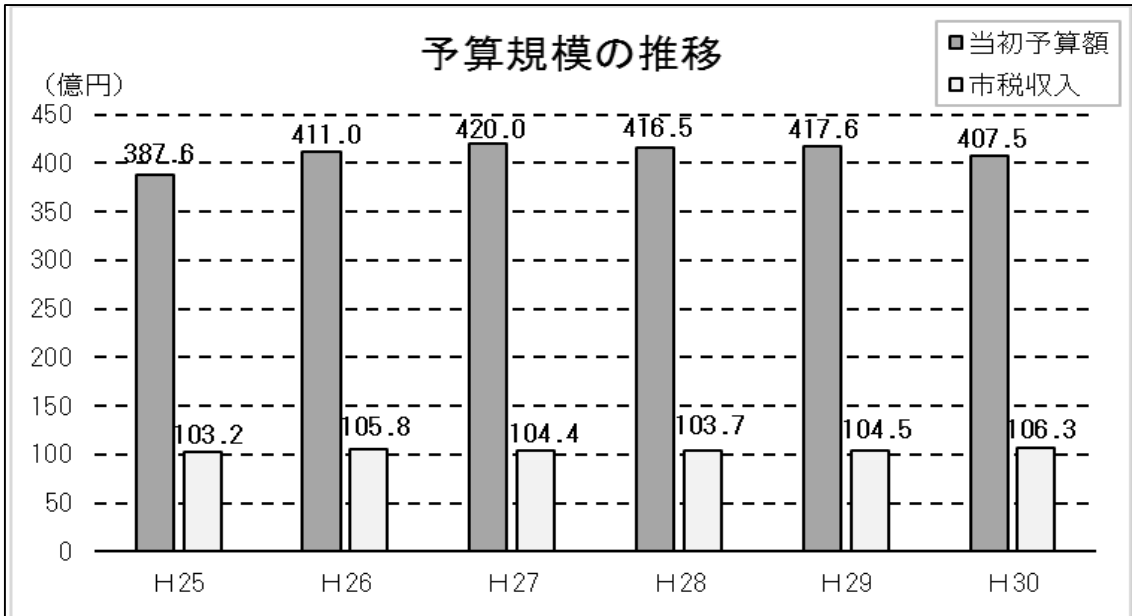


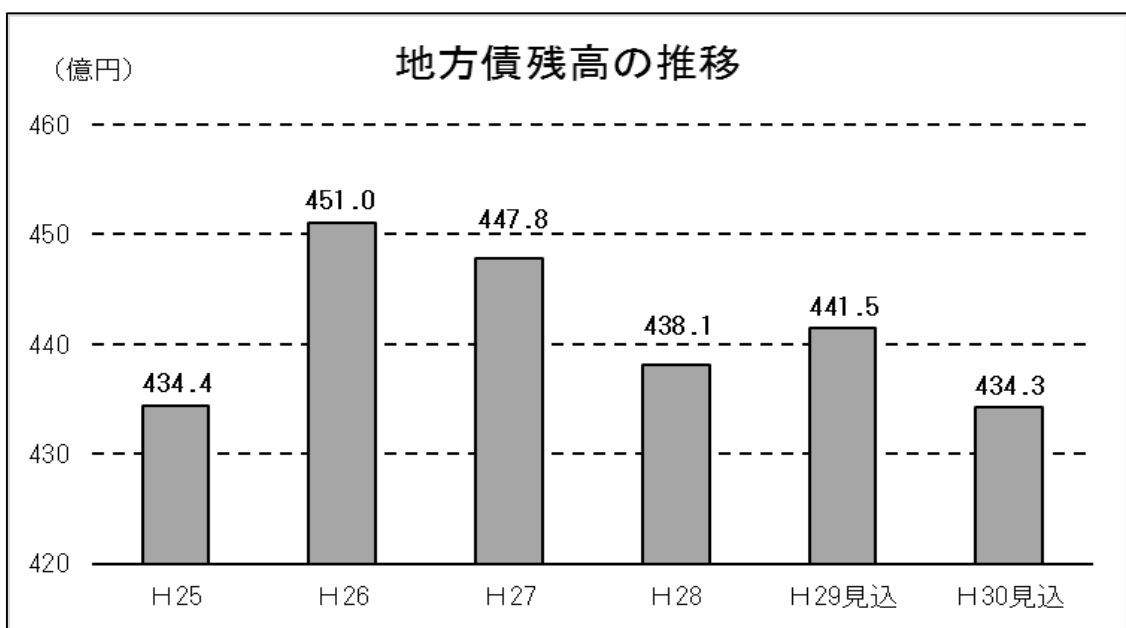
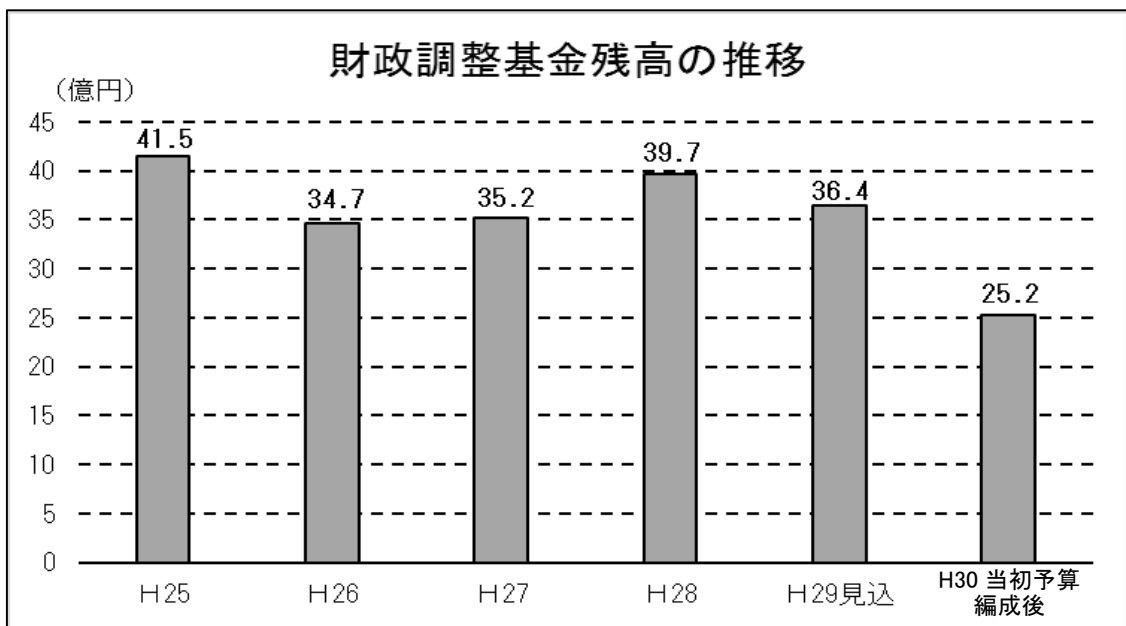
※1 扶助費の主な増減 (千円)

事業名	H30予算額	対前年
児童措置費 (私立保育所・認定こども園等運営費)	2,803,076	328,107
障害福祉サービス等給付費	1,665,076	53,054
障害児通所給付費	158,507	11,851
生活保護扶助費	1,980,896	△ 50,879

※2 普通建設事業費の主な増減 (千円)

事業名	H30予算額	対前年
保育所・認定こども園等 整備補助金	0	△ 268,977
農業用施設整備補助金	0	△ 304,502
三沢住宅建替事業	212,181	△ 256,850
永添運動公園整備事業	262,100	△ 180,140
道路・街路事業	1,060,336	△ 362,629
学習交流施設(現歴史民俗資料 館)耐震・改修事業	111,576	111,576
道路・街路事業	579,801	123,099
コアやまくに施設整備事業	60,290	60,290
道の駅耶馬トピア整備事業	36,773	36,773





※平成29年度及び平成30年度の地方債残高については、予算額ベースでの残高であるため、決算額(実際の残高)は表記の数値から減少し、平成29年度は平成28年度末よりも減少する見込み。

※平成29年度地方債残高には、災害復旧事業債6.4億円を含む。

平成30年度予算の主要施策

2年目を迎える「安心・元気・未来プラン2017」を着実に推進し、「暮らし満足」を向上・発展させます。

そこで、

1. 市民の暮らしを守る「地固め」
2. 中津市の成長・発展への「地固め」
3. 財政基盤確立への「地固め」

をテーマに「暮らし満足“地固め”予算」として編成し、「中津市政推進の基本指針」に沿った施策を積極的かつバランスよく展開しました。

1. 安心づくり

●災害に強いまち・災害に強い地域づくり

- ◇【新規】防災啓発60秒インフォーマーシャル事業〔17万円〕
※NOAS FMにて防災啓発に関する放送を60秒間行います。

- ◇【新規】緊急告知FMラジオ支給事業〔1,404万円〕
※旧中津地域の65歳以上の世帯に対して、防災用緊急告知FMラジオを貸与します。

- ◇福祉避難所備蓄品整備事業〔708万円〕

- ◇【拡充】無線システム普及支援事業〔1,871万円〕

※災害時の情報を効果的に受発信することができるよう指定避難所に無線LANを設置します。



(防災用緊急告知FMラジオ)

●中津市版地域包括ケアシステムの構築

- ◇【拡充】地域包括支援センターの充実

- ・総合相談事業〔6,124万円〕…《介護保険事業特別会計》
- ・権利擁護事業〔1,248万円〕…《介護保険事業特別会計》
- ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業〔1,248万円〕
…《介護保険事業特別会計》

- ◇【新規】在宅医療・介護連携推進事業〔1,692万円〕…《介護保険事業特別会計》
※切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進し、連携に関する相談支援、医療・介護関係者の情報共有支援などを行う在宅医療介護連携支援センター、サブセンターを設置します。

- ◇【拡充】生活支援体制整備〔920万円〕…《介護保険事業特別会計》

- ◇元気！いきいき☆週一体操事業〔792万円〕…《介護保険事業特別会計》

- ◇【新規】認知症カフェ運営補助金〔10万円〕…《介護保険事業特別会計》

※認知症カフェ（オレンジカフェ）を開設する法人・団体に対して運営費の一部を補助します。



(オレンジカフェ)

●データに基づく健康づくり

- ◇【拡充】健康データ活用予防推進事業〔152万円〕

- ◇健康増進事業（がん検診）〔9,777万円〕

- ◇【新規】医療ナビ構築事業〔281万円〕

※医療機関の情報サイト（「暮らし安心医療ナビ」（定住自立圏版））を作成します。

●子育て2.0のまちづくり

- ◇こんにちは赤ちゃん訪問事業〔222万円〕
- ◇【新規】新生児聴覚検査事業〔295万円〕
※新生児の聴覚検査費用を助成し、聴覚障害の早期発見・早期支援に繋がります。



- ◇子育て世代包括支援センター事業〔212万円〕
- ◇子ども医療費助成事業〔2億4,228万円〕
- ◇【拡充】子育てほっとクーポン活用事業〔1,123万円〕
※子ども医療費等の助成（拡充分 第2子プラス1万円、第3子プラス2万円）

- ◇【拡充】私立保育所運営費〔28億8,938万円〕
- ◇【拡充】一時預かり事業〔3,427万円〕
- ◇中津にこにこ保育支援事業〔1,176万円〕
- ◇子どもいきいきプレイルーム運営事業〔1,837万円〕
- ◇【拡充】延長保育事業〔2,197万円〕
- ◇【拡充】放課後児童健全育成事業〔1億9,212万円〕
- ◇放課後児童健全育成事業（長期休業期間）〔1,079万円〕
- ◇ファミリー・サポート・センター事業〔238万円〕
- ◇【新規】子どもの居場所機能強化事業〔90万円〕



（子どもいきいきプレイルーム）

※保護者の帰宅が遅く夕方の「子どもの居場所」や「食事」に困っている家庭を支援するため「学習支援」や「食事の提供（子ども食堂）」を行う民間団体に対して、その開設や機能強化等に要する費用を助成します。

- ◇ひとり親家庭医療助成事業〔6,824万円〕
- ◇【新規】児童福祉施設整備事業〔1億1,525万円〕
※大幡児童クラブ、鶴居児童クラブの整備を行います。

●誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

- ◇中津市障がい者等基幹相談支援センター設置事業〔2,827万円〕
- ◇障害者雇用促進事業〔10万円〕
- ◇【拡充】市民後見人養成事業〔220万円〕
- ◇【新規】ピアサポート交流事業〔27万円〕
※身体障害者相談員、知的障害者相談員等による移動相談室を設置します。
- ◇福祉的交通弱者支援事業〔1,310万円〕
- ◇【新規】高齢者の免許証自主返納支援事業〔213万円〕
※70歳以上の運転免許証自主返納者に対して1万円相当の交通チケットを交付します。

●「安心」で繋ぐ地域づくり

- ◇ひとり暮らし老人愛の訪問事業〔1,041万円〕
- ◇田舎困りごとサポート事業〔2,449万円〕
- ◇住民型有償サービス立上・運営補助金〔116万円〕
- ◇障がい者福祉計画策定〔238万円〕
- ◇地域福祉活動（サロン）施設整備事業補助金〔250万円〕
- ◇【新規】自殺対策計画策定〔523万円〕
- ◇【新規】買い物支援事業〔624万円〕

※山国地区では人口減少によりお店が減少しております。対策として、現在「みんなのお店」を運営していますが、高齢化に伴い買い物のための移動が困難となることが想定されます。そこで、平成30年度より、移動販売を開始し、安心して暮らせる地域づくりを図ります。



（みんなのお店）

《その他「なかつ安心・元気・未来プラン」に沿った主要施策》

●地域医療の充実

- ◇小児救急センター休日夜間診療業務支援事業〔2,483万円〕
- ◇不妊治療助成事業〔900万円〕
- ◇予防接種事業（ロタ・ムンプス）〔1,397万円〕
- ◇子どものインフルエンザ予防接種事業〔1,713万円〕
- ◇【拡充】学童フッ化物洗口事業〔206万円〕
※平成30年度より旧中津市内の小学校においても実施
（平成29年度に旧下毛地域の小学校から実施）

●障害の有無に関わらず暮らしやすいまちづくり

- ◇障害福祉サービス等給付事業〔16億6,508万円〕
- ◇障害者自立支援医療給付事業〔1億8,813万円〕
- ◇障害児通所給付事業〔1億5,851万円〕

2. 元気づくり

●働き方改革による中小企業の人材確保・育成

- ◇【新規】人材バンク就職支援事業〔326万円〕
※有資格の求職者と企業のマッチングを図ります。
- ◇【新規】女性起業家支援事業〔40万円〕
※女性の起業を支援するため、交流会等を実施します。
- ◇【新規】中小企業アンケート事業〔17万円〕
※中小企業対象にアンケートを実施し、ニーズを把握して今後の地場企業支援策に反映します。
- ◇中山間地域創業支援事業補助金〔300万円〕
- ◇勤労者資格取得支援事業補助金〔100万円〕
- ◇【新規】部活動指導専門員設置事業〔239万円〕
※教職員の「働き方改革」に資するため、部活動の指導を行う職員を4名学校に配置します。



（セミナーの様子）

●ニーズに応える企業誘致

- ◇企業立地促進助成金〔1億3,652万円〕

●一次産業における担い手育成と収益性向上

- ◇【新規】地域農業経営サポート機構育成事業〔200万円〕
※農業公社を中心とした地域農業サポート機構が農業用ドローンを導入する経費に対して支援を行います。
- ◇なかつ6次産業創生事業〔1,865万円〕
- ◇食品企業連携産地拡大推進事業〔850万円〕
- ◇藻類振興支援事業補助金〔30万円〕
- ◇水産物ブランド化・販路拡大事業補助金〔100万円〕



（農業用ドローン）

●山国川水系の上下流域を結ぶ観光振興

- ◇【拡充】ロケツーリズム推進事業〔270万円〕
- ◇観光イベント支援事業〔2,635万円〕
- ◇豊の国千年ロマン観光圏事業〔389万円〕
- ◇観光宣伝活動事業〔4,368万円〕
- ◇【新規】ONSEN・ガストロノミー事業〔10万円〕

※平成30年5月25日から5月27日にかけて「おんせん県おおいた世界温泉サミット」が開催されます。中津市では、（一社）ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構に加盟し、温泉と食、ウォーキングをコラボしたイベント「ガストロノミーウォーキング」を開催する予定です。

【ガストロノミーツーリズムとは！】
その土地を歩きながら、その土地ならではの食をたのしみ、歴史や文化を知る旅のことを言います。

- ◇【拡充】インバウンド対策〔781万円〕

- ・台湾、香港、タイ等での中津市特集番組放映〔410万円〕
- ・韓国語、中国語おもてなしマニュアル作成〔121万円〕
- ・台中世界花博覧会での宣伝活動〔238万円〕
- ・観光事業者向けインバウンド対策研修会の開催〔12万円〕



- ◇【拡充】メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業〔720万円〕

- ・サイクリングガイド養成、イベント実施〔195万円〕
- ・サイクルツーリズムによる台中との交流〔63万円〕
- ・サイクリングロードマップの作成〔113万円〕
- ・サイクルハブ設置〔62万円〕 など



- ◇道の駅耶馬トピア整備事業〔3,677万円〕

※中津日田高規格道路本耶馬溪インター（仮称）の完成に向けて、道の駅耶馬トピアの駐車場及び施設の整備を行います。

●地域が主体となった移住支援

- ◇【拡充】移住・定住支援事業〔834万円〕



※移住・定住を促進するため、空き家の改修や家財処分等の支援を行います。

平成30年度より、市内外居住者を問わず、旧下毛地域へのUターン者が行う住居（実家等）の改修についても支援を行うこととし、拡充しました。

- ◇【拡充】移住体験ツアー事業〔66万円〕

※移住体験ツアーを企画し、お試し暮らし住宅事業を開始します。

- ◇【新規】地域おこし協力隊起業支援事業〔500万円〕

※任期終了前後1年未満の地域おこし協力隊員が赴任地にて起業する場合、一人当たり100万円を上限に補助します。

●公民連携・政策間連携によるにぎわいづくり

- ◇【拡充】がんばる商店街支援事業費補助金〔660万円〕

※これまでの活性化イベントへの支援に加え、地域外からの誘客をターゲットにした外需獲得型の商店街を重点的に支援します。

- ◇商店街空き店舗活用事業補助金〔200万円〕

●「触れ合い」「親しむ」文化・スポーツ環境

◇【新規】「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」事業〔3,899万円〕

※「国民文化祭・おおいた2018」が開催されます。中津市は「水の森エリア」として、障がい者の芸術作品展示も行う「なかつ水灯り2018」・「競技かるた全国大会」・「ミュージカル『山国奇譚 鶴市愛歌』」・「九州人形芝居フェスティバル」のイベントを行います。



(九州人形芝居フェスティバル)

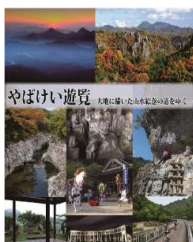
◇頼山陽200年記念事業〔160万円〕

※頼山陽の入溪200年を記念した行事を企画します。

◇明治維新150年・頼山陽企画展事業〔62万円〕

※明治維新150年及び頼山陽入溪200年を記念して企画展を行います。

◇日本遺産推進事業〔3,002万円〕



※日本遺産（やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道を行く～）関連事業です。

日本遺産に認定されたことを契機に、文化財の保護・活用、観光の振興を含む地域活性化を図ります。

◇小幡記念図書館移転25周年記念事業〔19万円〕

※絵本作家谷口智則氏によるライブペインティング及び絵本の読み聞かせイベントを行います。

3. 未来づくり

●子どもの可能性を拓ける教育

◇【拡充】スクールソーシャルワーカー設置事業〔679万円〕

◇【新規】スクールカウンセラー設置事業〔124万円〕

※現在、県から8名のカウンセラーが配置されています。多様化するニーズに対応するため、市単独にて1名追加配置を行います。

◇【拡充】小1プロブレム対策推進事業〔25万円〕

※「中津市乳幼児教育振興プログラム」策定後の共通理解や情報共有を目的とし、小1プロブレムの解消と幼児教育の充実を図るため、官民保幼小が一体となった合同研修会を実施します。

◇【拡充】学力向上学習補助員設置事業〔1,637万円〕

◇【拡充】教員配置事業（市単独）〔960万円〕

※個別指導及び複式学級一部解消に向け、学力向上学習補助員を4名増員します。（学力向上学習補助員12名→14名）

また、数学や英語における少人数指導や習熟度別指導を強化するため、市単独で教員を配置します。（3名→4名）



(学習補助の様子)

◇【拡充】特別支援教育補助員設置事業〔7,384万円〕

※特別支援教育補助員59名→62名

◇【拡充】英語指導助手招致事業〔5,815万円〕

※学習指導要領改訂に伴い、平成30年度より小学校の英語の授業時数が増加することから、英語指導助手を1名増加し、ネイティブスピーカーとともに学ぶ外国語（英語）活動を充実します。（英語指導助手6名→7名）

- ◇【拡充】学びに向かう中津っ子支援事業〔1,170万円〕
※授業よりやや高い学びにチャレンジすることによって、知識・技能の習得や、未知の状況に対応する思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を目指します。

- ・「学びのススメ塾」の実施
- ・APUの学生との交流会
- ・ジュニアグローバルリーダー（短期留学） など



(APUの学生との交流会の様子)

- ◇【拡充】授業改善支援事業〔198万円〕
※教職員の指導力向上のための研修会開催や先進地視察を行います。
- ◇特色ある学校づくり補助金〔352万円〕

●地域で活躍する人材育成

- ◇【新規】大学連携推進事業〔12万円〕
※大学等が中津市内で行う調査研究活動に対する助成
- ◇職人フェスティバル事業〔50万円〕
- ◇【新規】やまくにっ子育成事業〔65万円〕
※山国地区の小学生を対象に、山国の郷土料理教室などを行い、山国の文化及び伝統の継承を図ります。
- ◇【新規】学習交流施設（現歴史民俗資料館）耐震・改修事業〔1億1,238万円〕

※小～高校生の学習スペース、社会人の勉強スペース、各種団体の勉強会等での使用など、多様な教育の場の提供を目的に、現歴史民俗資料館の建物を有効活用し、学習交流施設を整備（耐震化）します。



(現歴史民俗資料館)

●「環境共生都市なかつ」の推進

- ◇【新規】「きれいなまち中津」事業〔108万円〕



※自然環境の保全や自然との共生のために、「サポーター登録制度」を定め、市民参画による「ごみ拾い活動」を広めます。

登録グループにはゴミ袋を配布することに加え、万歩計も配布し「ごみ拾い」と「ウォーキング」をコラボさせることで健康増進も図ります。



(ベッコウトンボ)

- ◇【拡充】ベッコウトンボ保護事業〔173万円〕
※大学等と連携し実態把握調査等を実施します。
- ◇【新規】中津干潟調査保全事業〔104万円〕
※中津の干潟を保護するためカブトガニ等の生態調査を行います。

●「命」と「暮らし」を守り支える高速交通網の整備

- ◇八面山線道路改良事業〔2億105万円〕
- ◇諸田中央線道路改良事業〔1億10万円〕
- ◇下池永西大新田線道路改良事業〔1億5,110万円〕
- ◇庄屋村線（記念橋）橋りょう整備事業〔6,185万円〕



款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

(単位:千円)

市政推進の基本指針	安心づくり	災害に強いまち・災害に強い地域づくり
-----------	-------	--------------------

【事業の背景・目的】

現在、MCA無線(旧中津地域)・告知放送(旧下毛地域)・ケーブルテレビ・なかつメール・防災ポータルサイト・緊急告知FMラジオ・SNS等、様々な手段を活用し、情報伝達の多重化を図っていますが、旧下毛地域のように各世帯に戸別受信機を設置していない旧中津地域の高齢者世帯の中には、インターネットや携帯電話等を利用しておらず、市からの直接的な情報の伝達手段が、MCA無線の屋外拡声機だけとなっている世帯もあります。

そのため、旧中津地域の高齢者のみの世帯に緊急告知FMラジオを貸与することで、更なる情報伝達手段の多重化を図ります。

また、災害時において、固定電話、携帯電話の通信回線が混雑等のため利用できない状況下であっても、防災情報等を効果的に受発信することができる環境が必要とされています。

この環境を実現する手段の一つとして、総務省の「公衆無線LAN環境整備支援事業」を活用し、住民等が利用できる無線LAN(Wi-Fi)を設置します。

①【新規】緊急告知FMラジオ支給事業

担当部局・所属	総務部	防災危機管理課				
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,040					14,040	0

【事業の概要】

市内に住所(三光、本耶馬溪町、耶馬溪町、山国町区域を除く)を有し、かつ、居住している65才以上の高齢者のみの世帯で、貸与を希望する世帯主に対し、緊急時に自動で起動し、防災情報を伝達する緊急告知FMラジオの貸与を行います。

【主な事業費】

緊急告知FMラジオ 2,000台 事業費14,040千円



【期待される効果】

情報が伝わりにくい高齢者に対し、より確実な伝達手段が確保されるとともに、早期の避難行動等にもつながることから、減災対策に大きな効果が期待できます。

②【拡充】無線システム普及支援事業

担当部局・所属	企画観光部	情報管理課				
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,713		8,559		7,100		3,054

【事業の概要】

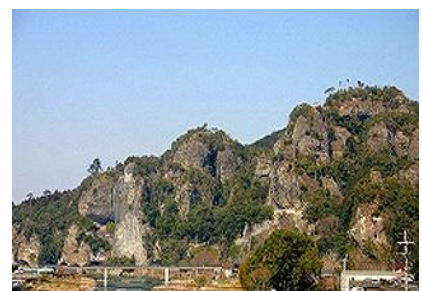
- ①平成29年度にて本庁・支所に整備
- ②平成30年度にて避難所に指定されているコミュニティセンター・公民館等計34か所にWiFiスポットを整備
- ③平成31年度にて、都市公園等に整備



庁舎



コミュニティセンター



文化財・都市公園・自然公園

防災拠点、災害対応の強化が望まれる公的拠点を中心に整備

【主な事業費】

無線LAN環境構築委託料(機器費用含む) 16,580千円、伝送路引込工事費 540千円
インターネット回線使用料 928千円、ケーブルネットワーク使用料 427千円 ほか

[平成29年度] 本庁・支所等の官公署5箇所にアクセスポイントを整備



[平成30年度]

公民館、コミュニティセンター等、災害時の指定避難所等34か所にアクセスポイントを整備予定



[平成31年度] 都市公園等について、アクセスポイントを整備予定



【期待される効果】

災害時の避難場所等において、携帯電話等の通信回線が混雑などのために利用できない状況下であっても、避難者等が災害情報や安否情報を効果的に受発信することが期待できます。
また、災害時でない平時の際も簡単な認証で利用できますので、WiFi接続して本市内の観光地、グルメ、地図等の情報収集や、旅先の体験をSNSで発信するなどの活用が期待できます。

市政推進の基本指針 元気づくり 地域が主体となった移住支援

【事業の背景・目的】

中津市では、UJI支援事業に取り組んでいますが、主としてUターンを促進するための施策がなく、地元のことがよく分かっており、地域の即戦力として期待されるUターン希望者のふるさと回帰を促進する必要がありました。そこで、この度、Uターン希望者が実家や親族の家にUターンする際の補助制度を創設し、Uターンの促進を図ります。

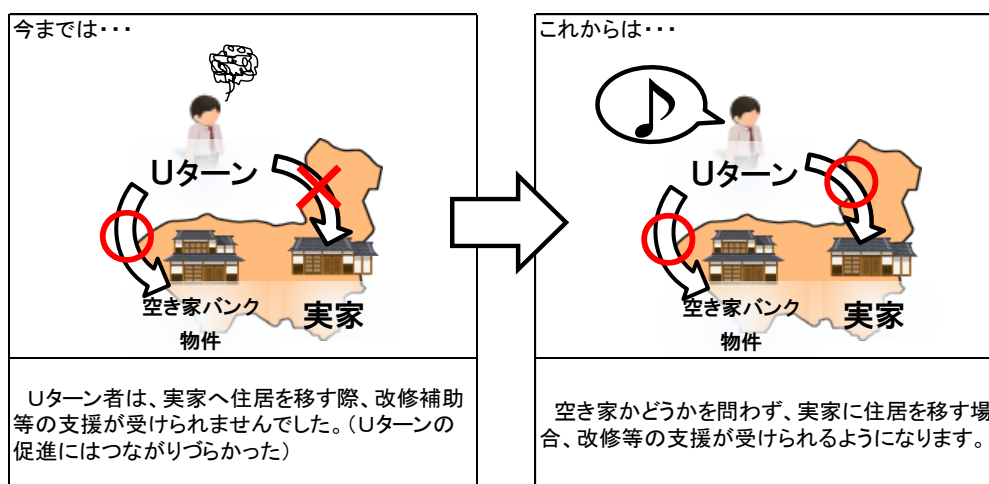
これに加え、従前より取り組んでいるJターン促進施策を有効に進めるため、PRの強化を目的に、移住体験ツアーの実施とお試し暮らし住宅の開設を行います。

また、地域おこし協力隊受け入れから3年を迎え、隊員の任期が終了することから、隊員の定着支援と地域活性化を目的に、地域おこし協力隊の起業を支援します。

①【拡充】移住・定住支援事業

担当部局・所属	企画観光部		地域振興・広聴課			
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,340			650			7,690

今までの空き家バンク利用者への各種補助事業に加え、旧下毛地域へのUターンを希望する方を後押しするため、実家(3親等以内の親族が所有、もしくは居住する住宅)に転居する場合、改修費の1/2、最大50万円を補助します。



②【新規】地域おこし協力隊起業支援事業

担当部局・所属	企画観光部		地域振興・広聴課			
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,000						5,000

任期終了後の地域おこし協力隊の定着支援、及びそれによる経済効果や地域活性化の効果を目的に、地域おこし協力隊の起業について、補助を行います。

補助対象経費 設備費(店舗改修等)、備品及び土地・建物賃借費等	補助率 10/10	補助対象期間	
補助対象者 開業届出により新たに事業を開始する等	補助上限 100万円	任期	解嘱
		← 前一年間	← 後一年間 →

③【拡充】移住体験ツアー事業

担当部局・所属	企画観光部		地域振興・広聴課			
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
659						659

中津市への移住を促すため、お試し暮らし住宅の開設と移住体験ツアーを開催、移住希望者に実際に中津、とりわけ下毛地域に足を運んでもらい、見て、感じてもらうことで、移住を促します。

○移住体験ツアー

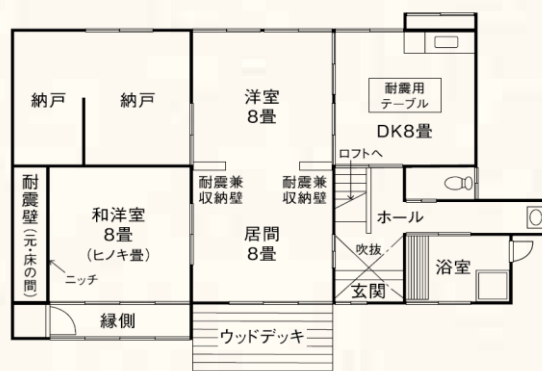
下毛地域の良さを感じてもらうため、地元の方、移住してきた方との懇談や、仕事の紹介などを行います。



○お試し暮らし住宅

移住体験ツアーを通じて、下毛地域の良さを実感していただいたあとは、実際に田舎暮らしを体験してもらえるよう、山国地域にある空き家改修モデルハウスを活用して、お試し暮らし住宅事業を開始します。

<間取り>



中津を体感してもらう



【期待される効果】

移住・定住支援事業で、対象をUターン者までに拡大したことに伴い、更なる移住者の増が期待され、以って地域の活性化が図られます。

地域おこし協力隊の起業を支援し、地域に定着してもらうことで地域活性化を図ります。

情報発信後の移住体験ツアー及びお試し暮らしにより、中津を体験してもらうことで、移住後の生活のイメージを明確化することにより、移住の促進に繋がります。

市政推進の基本指針 元気づくり 山国川水系の上下流域を結ぶ観光振興

【事業の背景・目的】

中津市では、市内全域を流れる山国川の上下流域が一体となった観光振興を推進しています。その中でも、平成30年度は近年需要が高まっている「体験する観光」を推進するため、新たなイベントとして、温泉と食、ウォーキングをコラボしたイベント「ONSEN(おんせん)・ガストロノミー」を実施します。

また、インバウンド対策として、2019年のラグビーワールドカップ大分開催、2020年の東京オリンピック開催を目前に控え、近年急増する訪日客を中津市に呼び込むための情報発信や受け入れ態勢の強化を図ります。

さらに体験型観光施設である「メイプル耶馬サイクリングロード」については、平成29年2月の台湾台中市とのサイクルツーリズム及び観光友好交流の促進に関する協定締結を受け、台中市へのPRを強化します。

①【拡充】インバウンド対策

担当部局・所属	企画観光部		観光推進課・耶馬溪観光室			
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,805		2,052				5,753



PR動画



観光事業者向け研修会

<PRについて>

【台湾、香港、タイ等での中津市特集番組放映】

台湾、香港、タイ等の訪日客を呼び込むため、中津市特集番組を現地で放映します。

<おもてなし>

【韓国語、中国語おもてなしマニュアル作成】

来訪者の大半を占める韓国、中国からの観光客のため、韓国語、中国語に対応した接客等の受け入れ態勢整備を図るため、観光事業者向けのおもてなしマニュアルを作成します。

【インバウンド対策観光事業者向け研修会の開催】

海外からの観光客に対する接客等の観光事業者向け研修会を実施します。

②【拡充】メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業

担当部局・所属	企画観光部		耶馬溪観光室			
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,196		1,707			584	4,905



<PRについて>

【台中世界花博覧会での宣伝活動】

台湾台中市との協定締結を受け、台中市で開催される世界花博覧会において「メイプル耶馬サイクリングロード」を中心とした中津市の観光PRを実施します。

<おもてなし>

【サイクリングロードマップの多言語対応】

既存パンフの多言語化を図ります。

【サイクリングガイド養成、イベント実施】

耶馬溪の歴史・文化・周辺のお店を紹介するサイクリングガイドを養成すると同時に、スタンプラリー等のイベントを実施しサイクリング観光客増を図ります。

【サイクルハブ設置】

サイクリングロード利用者が休憩できるように自転車ラックを置いたサイクルハブ(休憩場所)を民間施設等の協力を得て増やします。

③【新規】ONSEN・ガストロノミー事業(ガストロノミーツーリズム)
(おんせん)

担当部局・所属	企画観光部		観光推進課・耶馬溪観光室			
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,900						1,900



ガストロノミーツーリズムとは、その土地を歩きながら、その土地ならではの食を楽しむ、歴史や文化を知る旅のことをいい、5月25日(金)から別府市で開催される、「世界温泉地サミット」の【サミットエクスカーシオン】として今回、中津市で初めて開催されることになりました。

「ONSEN・ガストロノミーウォーキングinやばけい遊覧」と銘打ち、本耶馬溪青の洞門周辺において5月27日(日)に開催予定です。体験型観光のひとつとして、参加者の皆様には景観・自然を肌を感じながら遊歩道等を歩き、食を通じて地域の魅力を堪能するとともに最後に温泉も楽しんでいただきます。

【期待される効果】

新たなイベントの実施、ターゲットを絞ったPR等による入込客及び宿泊者増により、観光業の振興を図るとともに、交流人口の増による地域活性化の効果も期待できます。

款	—	項	—	(単位:千円)
市政推進の基本指針	安心づくり	中津市版地域包括ケアシステムの構築		
担当部局・所属	福祉部	介護長寿課		

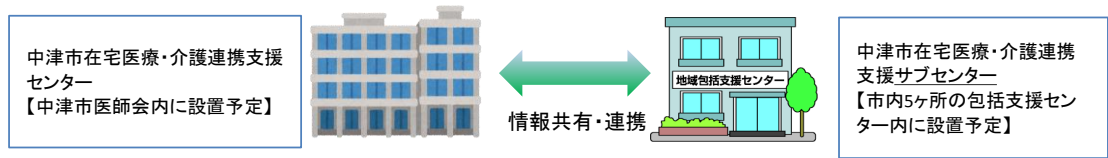
【事業の背景・目的】
 高齢者の暮らしを守るため、「生活」「健康」「生きがい」を社会全体で支えるための仕組みを、地域の特性を考慮しながら構築していきます。また、地域住民を中心に行政や民間事業者、医療機関等あらゆる主体の連携により、持続可能なシステムを構築します。

①【拡充】在宅医療・介護連携支援推進事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,918			6,513	3,257		3,891

【事業の概要】
 医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者の在宅療養生活を支援するため、委託事業として、在宅医療・介護連携支援センター及びサブセンターを設置し、切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築を推進します。センターは中津市医師会内に設置予定で、コーディネーターを2名配置し、主に医療・介護関係者の相談の受付、連携の支援等を行います。また、サブセンターは包括支援センターの機能として位置づけ、主に高齢者やその家族からの相談の受付、支援等を行います。センターとサブセンターは常に情報共有をしながら連携し、共に活動します。

- 【主な事業費】
- ・中津市在宅医療・介護連携支援センター設置 9,418千円
 - ・中津市在宅医療・介護連携支援サブセンター5か所設置 7,500千円



②【新規】認知症カフェ運営事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
100			39	19		23

【事業の概要】
 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、認知症の人とその家族、地域住民などが気軽に集える場として、認知症カフェ(オレンジカフェ)を開催しています。
 現在、市では2事業者に委託し計7か所開催していますが、今後、会場をさらに増やしていく必要があると考え、民間の法人、団体等にご協力いただくため、運営費の一部を補助することで新規開催を促していきます。

- 【主な事業費】
- ・認知症カフェ運営補助金@25千円×4カ所 100千円



- 開催状況【参加費(飲み物代)100円】
- ①オレンジカフェ三光(三光福祉保健センター)年4回
 - ②オレンジカフェほんやばけい(本耶馬溪公民館)年4回
 - ③オレンジカフェやばけい(やすらぎ荘テイルーム)年4回
 - ④オレンジカフェやまくに(デイサービス山国)年4回
 - ⑤オレンジカフェなかつ(古川メディカルクリニック)月1回
 - ⑥オレンジカフェつきのみ(槻木交流センター)年6回
 - ⑦オレンジカフェむらかみ(通所リハビリセンターエルダーカマー)年6回
 - ⑧民間オレンジカフェさわらび(特別養護老人ホームさわらび)月1回
H29年11月開始(H30年度より補助予定)

【期待される効果】
 在宅医療・介護連携を推進することにより、在宅療養を望む高齢者のニーズに答えることができ、住み慣れた地域で安心して最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現に繋がります。
 また、認知症カフェの運営補助により、認知症の人やその家族を支援する場、機会が増えます。

款	総務費	項	総務管理費				
事業名	【新規】買い物支援事業						(単位:千円)
市政推進の基本指針	安心づくり	「安心」で繋ぐ地域づくり					
担当部局・所属	山国支所		地域振興課				
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,242				5,500		742	

【事業の背景・目的】

山国地域は中津市内でも最も過疎高齢化が進行しており、自家用車での移動が困難化しています。

また、地域商業も衰退し、必要な生活物資を求める買い物店が不足しており、それを補う移動販売も経営主の高齢化で継続も危ぶまれています。

今後、更なる過疎高齢化により買い物手段がなくなることが懸念され、地域住民が安心して生活できる環境を整備しておくことが必要です。

【事業の概要】

町の中心に位置するコアやまくにを拠点に買い物店舗運営と移動販売基地の整備を行う。

- 移動販売事業・・・継続が危ぶまれている民営の移動販売を受け継ぎ、周辺集落の買い物の利便性を維持する。

・事業主体：一般財団法人 コアやまくに

- ・事業内容：①移動販売車購入
②バックヤード整備
③移動販売事業委託

【主な事業費】

- ①移動販売車購入 …… 6,233千円(県補助金：3,116千円、市補助金：3,117千円)
- ②バックヤード整備 …… 4,886千円(県補助金：2,442千円、市補助金：2,444千円)
(プレハブ倉庫、備品購入)
- ③移動販売事業委託 …… 681千円(市委託料：681千円)

- 総事業費：11,800千円(県補助金：5,558千円、市費：6,242千円)

みんなのお店やまくにの店内



移動販売車(イメージ)



【期待される効果】

地域内の過疎高齢化が進行する状況で、かつ、民活対応が難しい中、買い物店舗の運営と移動販売事業を公共で実施することにより、損なわれつつある生活環境を整備し、住民の方が安心して生活ができる町を維持することができます。

また、生活する上で、買い物の行動は人のふれあい、会話等、日常生活の中でごく自然に生まれるコミュニケーションの場の再構築が図られます。

款	労働費	項	労働諸費	(単位:千円)
市政推進の基本指針	元気づくり	働き方改革による中小企業の人材確保・育成		
担当部局・所属	商工農林水産部	商工振興課		

【事業の背景・目的】

中小企業では、少子高齢社会の進行による労働力の低下が懸念される中、雇用のミスマッチによる離職や高度な技術力の不足、後継者不在といった様々な問題を抱えています。

また、創業は新たな雇用や経済の活性化を促すものですが、創業件数は廃業件数を下回る状況が続いており、産業の新陳代謝が進んでいない状況に陥っています。

そこで、雇用の確保と創業に対する新たな支援に取り組み諸課題の解決を図るとともに、中小企業の現状やニーズを把握することで、支援策に反映していきます。

①【新規】人材バンク就職支援事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,263		1,631				1,632

【事業の概要】

資格や技術を有する求職者と有資格者を求める事業所等の雇用マッチングを行う、登録制の「中津市版人材バンク制度」を創設します。

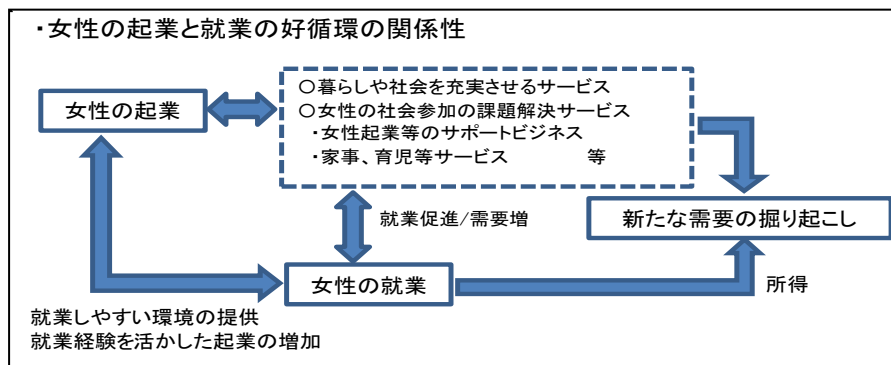
- ・有資格等の求職者へ求人情報の提供のほか、カウンセリングや就労ニーズの把握を行います。
 - ・求人事業所等に対し、求職状況や求職者が求める労働条件等の情報提供や助言を行います。
 - ・求職者が希望する事業所の選定、マッチングを行い、最終的にハローワークへつなぎます。
- <登録分野> 介護士、看護師、保育士、教諭(学校、幼稚園等)、技術者、季節勤務希望者

②【新規】女性起業家支援事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
399		200				199

【事業の概要】

創業者数の持続的確保や女性ならではのアイデアを活かしたビジネス創出を図るため、複数回のセミナー交流を通じて、事業のステップアップに必要なスキルを習得するとともに、女性起業家ネットワークを構築します。



③【新規】中小企業アンケート事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
174						174

【事業の概要】

中小企業の経営状況や課題等を把握することで、市の計画策定や支援施策の検討における基礎資料とします。

- ・市内で事業を行う中小企業・小規模事業者1,000社に対しアンケートを実施します。
- ・アンケートの内容によっては、直接企業訪問を実施し、詳細を把握します。

款	教育費	項	社会教育総務費	(単位:千円)			
事業名	【新規】「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」事業(社会教育総務事業)						
市政推進の基本指針	元気づくり	「触れ合い」「親しむ」文化・スポーツ環境					
担当部局・所属	教育委員会	社会教育課					
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,989					24,233	14,756	

【事業の背景・目的】

大分県では、平成30年10月6日から11月25日まで「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が開催されます。開催期間中には、県内を5つのブロックに分け、それぞれのテーマに沿った芸術文化事業が展開されます。

中津市においては、「水の森」のテーマのもとリーディング事業(市メイン事業)と3つの分野別事業を実施します。

【事業の概要】

(1)リーディング事業

○なかつ水灯り2018(仮)

開催日(予定):10月6日(土)～11月18日(日) 会場:中津市内

内容:中心市街地と耶馬溪地域においてライトアップ等の「光の演出」を行うとともに、展示会場を巡りながらまちあるきを楽しめ、障がい者の芸術作品展示も行うアートプロジェクトを開催

(2)分野別事業

○九州人形芝居フェスティバル

開催日:10月21日(日) 会場:中津文化会館

内容:九州各地の伝統芸能を保持する人形芝居、浄瑠璃団体が一堂に会し、演目を披露。

○小倉百人一首競技かるた全国大会

開催日:10月27日(土)～28日(日) 会場:ダイハツ九州アリーナ

内容:小倉百人一首競技かるたの全国大会を各県対抗の団体戦で行なう。

○ミュージカル「山国川奇譚 鶴市愛歌」

開催日:11月18日(日) 会場:中津文化会館

内容:「八幡鶴市神社縁起」の詩題を基にした市民キャストによる舞台(ミュージカル)公演



九州人形芝居フェスティバル



小倉百人一首競技かるた全国大会

【期待される効果】

・新たなアート事業の創造、各種文化事業の開催を通して歴史と文化の香るまち中津の魅力を発信することができます。

・県内外からの参加者、芸術文化事業を巡る観光客(カルチャーツーリズム)による経済効果が期待できます。

款	教育費	項	文化財保護費	(単位:千円)			
事業名	日本遺産推進事業						
市政推進の基本指針	元気づくり	「触れ合い」「親しむ」文化・スポーツ環境					
担当部局・所属	教育委員会	社会教育課					
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,020					28,538	1,482	

【事業の背景・目的】

平成29年4月に中津市・玖珠町で申請した「やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～」のストーリーが日本遺産の認定を受け、29年度から31年度まで文化庁より日本遺産魅力発信推進事業の補助事業を実施することとなりました。中津市玖珠町では、中津市玖珠町の文化財を活用した事業を推進することで、やばけい地域が魅力的な観光地となり、地域が活性化することを目指します。29年度は地域資源の調査や画像素材の収集、環境整備などを行い、平成30年度からは、補助金終了後の自走化を見据え、事業を担う人材を育成しながら、官民連携した体制構築を行い、情報発信、観光誘客に努めます。

【事業の概要】

- ①やばけいブランディング事業
 - ・ブランディングの具体化、サービス・商品の開発
- ②情報発信・人材育成事業
 - ・情報発信を担う官民体制の構築、専門家の指導による情報発信(取材・編集)能力の向上
 - ・WEB等に活用できるコンテンツ開発、WEB構築
 - ・ガイド育成、中津玖珠の子どもたちの交流
- ③普及啓発事業
 - ・旅行者、メディア対象のモニターツアー開催
- ④公開活用のための整備事業
 - ・「耶馬溪風物館」を日本遺産センターとして整備
 - ・説明看板、案内板設置



地域プレイヤーミーティング



日本遺産プロデューサーの指導



モニターツアー

【期待される効果】

事業実施にあたり地域の人々に参画いただき、地域に経済効果が生まれる仕組みづくりに取り組みます。やばけいのブランド力をあげ効果的な情報発信を行うことで、観光客数の増加をうながし、地域の魅力を高めます。

款	教育費	項	教育総務費	(単位:千円)
市政推進の基本指針	未来づくり	子どもの可能性を拓げる教育		
担当部局・所属	教育委員会	学校教育課		

- 中津市の「学びたい教育のまちづくり」において、子どもの育成につきましては、「こどもの将来における可能性が最大限拓がるまち」を挙げています。
- 「自立する力を育み、社会で活躍できる子どもの育成」にむけて、知・徳・体をバランスよく育むとともに、子どもたちの将来の夢や希望の実現に向けて欠かすことのできない学力向上に向けて、教育内容と教育環境の充実を一層図っていきます。
- 子どもたちや保護者の抱える様々な困りや不安、安全等に対して、専門家を含めた人的支援を確保し、どの子どもも安心して学べる学校づくりを推進していきます。
- グローバル化の進展や人工知能(AI)の急速な進化など、社会の様々な激しい変化が加速度的に進んできていること等を受け、主体的な学び、多様な仲間と協働して解決する学び、学んだことを社会とつなぎ生涯にわたって学び続ける力となっていくような場づくりを、学校とともに一層進めていきます。
- 世帯の経済状況による教育格差の是正に向けた取組みを行います。

①【拡充】学力向上学習補助員・【拡充】教員配置事業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,964						16,366

【事業の概要】

指導方法の工夫改善に努める学校でのTT指導、複式学級の一部解消のための学習支援、一斉学習における日本語の個別指導、学級規模の状況により特に学力状況や学習面の困難が認められる場合など、効果的に児童生徒の学力向上を図るための学習支援を行います。(14名配置:2名増)

また、数学や英語における少人数指導や習熟度別指導を強化するため、市単独で教員(任期付短時間勤務職員)を、授業改善を推進する中学校に配置します。(4名配置:1名増)



②【拡充】特別支援教育補助員設置事業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
73,841						73,841

【事業の概要】

幼稚園、小学校、中学校に在籍する障がい(発達障がいを含む)のある園児・児童・生徒に対して、学校生活や学習場面において、その子の特性に応じた補助的支援を行います。(62名配置:3名増)

③図書活動推進事業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
50,152						

【事業の概要】

学校司書を各校に配置し、学校図書館の管理・運営、児童生徒への読書の推進を図ります。また、教職員と連携しNIE活動や授業の教材としての図書活用の助言及び収集を行います。



④【拡充】スクールソーシャルワーカー設置事業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,792				3,688		

【事業の概要】

大分県が実施する「スクールソーシャルワーカー活用事業」によるスクールソーシャルワーカーを4名(現在週2日×3名 1名増員)配置します。専門的な知識や経験を活かして、課題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけ・関係機関とのネットワークの構築・連携調整を行います。

各学校の教職員、児童生徒及びその保護者からの相談を受け、情報提供や助言等を行うとともに、関係機関と連携することによって、包括的な支援を行います。



③【拡充】英語指導助手招致事業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
58,151						30

【事業の概要】

授業及び授業外での外国語活動においてALT(外国語指導助手)を活用しています。ネイティブスピーカーによる指導の機会を設けることは、外国語をより身近なものとし、児童・生徒の興味・関心や語学習得意欲の高まり、また異文化理解を通して、自国の歴史・文化等の教養を深めるなどの効果があります。また、授業外での活動(休み時間、給食、学校行事、スピーチコンテスト、英語弁論、わくわく英語広場、APU交流等)を通して、これからの時代に必要となる思考力・判断力・表現力等やコミュニケーション能力を高め、グローバルな人材を育成します。



◇平成30年度から、新学習指導要領において小学校3年生から6年生の外国語活動の授業時数が増えることからALTを1名増員します。
◇新規事業としてALTの活用促進を図るため、ALTと教育委員会及び学校間の連絡調整やALTの生活支援等を図ることを目的とした英語コーディネーターを1名配置します。

⑥【拡充】小1プロブレム対策推進事業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
249						

【事業の概要】

「中津市乳幼児教育振興プログラム」策定後の共通理解や情報共有を目的とし、小1プロブレム(就学前の園児及び就学後の児童が抱える不安により発生する諸問題)の解消と幼児教育の充実を図るため、官民保幼小が一体となった合同研修会を実施します。(年5回実施予定)

⑦児童養護施設での出前補充授業(市単独)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
683						626

中津市には、児童養護施設が2カ所あります。県下から、年度途中で児童相談所に措置されて入所してくるため履修していない内容があることが多く見受けられます。このような状況にある児童生徒の学習意欲の向上や基礎的な学力の定着を図るため、出前補充授業を行います。

款	教育費	項	教育総務費				(単位:千円)
事業名	【拡充】学びに向かう中津っ子支援事業						
市政推進の基本指針	未来づくり	子どもの可能性を拓げる教育					
担当部局・所属	教育委員会		学校教育課				
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,016					10,089	927	

【事業の概要】

授業よりやや高い学びにチャレンジすることによって、知識・技能の習得や、未知の状況に対応する思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を目指します。

具体的には、基礎基本を活用した問題や復習問題などの集中的な学び直し期間の設定、英語体験の拡大、英検等への挑戦、夢を実現につなげる学びの場を提供し、学びに向かう力・グローバル人材等の育成を目指します。

(事業内容)

■学びのススメ塾(補充学習支援)

全学校を対象に、基礎基本を活用した問題や復習問題などの補充学習を集中的(夏休み短縮期間・学年末に予定)に実施し学力の向上を図ります。

■APUとの交流活動事業



英語や異文化に興味がある中学生を対象に、ALT引率のもとAPUのオープンキャンパスや学園祭などに参加し、キャンパス内で英語のみの会話による学生との交流活動を実施します。

学生たちと楽しみながら英語で会話する中で、コミュニケーション能力の育成や異文化理解を図ります。(年2回)

■学びのススメ英検塾

中学生を対象に、卒業までに英検3級取得を目的とした放課後補充学習を実施します。これからの時代に必要な英語の資格を取得することを目指して学習することにより、英語の基礎・基本の語彙力をつけるとともに、より実用的なコミュニケーション能力を高めることができます。(全中学校:各校週1回)

■ジュニアグローバルリーダー研修

中学生(10名)を対象に海外の現地校への短期留学を行い、英語力、コミュニケーション能力の育成をはじめ、異文化交流を通じて、グローバルリーダーの育成を行います。

■わくわく英語ひろば

小学生を対象に、ALTとAPU学生を活用した遊びや体験を通じての異文化交流を実施し、外国(語)への興味、関心を高めます。

■ステップアップ講座事業

中学生を対象に、英語、数学の2教科において活用問題や入試問題、数学検定や英語スピーキング(ALTやAPU学生との交流もあり)等を実施します。三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国中学校の生徒は、バスで送迎します。



款	教育費	項	文化財保護費	(単位:千円)			
事業名	【新規】学習交流施設(現歴史民俗資料館)耐震・改修事業						
市政推進の基本指針	未来づくり	地域で活躍する人材育成					
担当部局・所属	教育委員会		社会教育課				
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
112,376		55,700		50,200		6,476	

【事業の背景・目的】

市民誰もが学びたいことを学ぶことができる環境づくりは、福澤諭吉や小幡篤次郎ゆかりの地である「学びたい教育のまち中津」にとって、欠かせない事業です。また、大人だけでなく児童・生徒が安心して、落ち着いて勉強ができる環境を提供することも、学力向上・人材育成の観点から重要な事業であると考えます。

上記の事業を今後展開するために、「学びたい教育のまち中津」の拠点の一つとなる、全市民を対象とした学習の場を整備します。

【事業の概要】

現在建設中の中津市歴史博物館(仮称)が平成31年度に開館することで、現在の中津市歴史民俗資料館はその役割を終えます。そこで、その建物を有効活用し、耐震化・改修を行うことで、「学びたい教育のまち中津」の拠点施設の一つとして整備します。

整備後は、小幡記念図書館の分館機能の一つとして小～高校生の学習スペース、社会人の仕事・勉強スペース、各種団体の勉強会等での使用など、多様な教育の場の提供が可能になります。また、市民誰もが利用可能な学習環境を整備することで、世代を超えた交流を創出します。さらに、福澤諭吉、小幡篤次郎ゆかりの地として慶應義塾大学との連携強化の場としての活用も検討しており、「学びたい教育のまち中津」の人的・文化的拠点となります。

※国土交通省の地方都市リノベーション事業を活用(補助率50%)

木造部分の耐震補強、内外装、電気設備、トイレ改修、空調設備整備を行います。



中津市歴史民俗資料館(南側外観)



(西側外観)

【期待される効果】

小～高校生の学習スペースを提供することで、学力向上・人材育成の一役を担います。また、学習を通じ世代を超えた交流が生まれることで、コミュニティの活性化を図ります。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

(単位:千円)

事業名	環境対策事業		
市政推進の基本指針	未来づくり	「環境共生都市なかつ」の推進	
担当部局・所属	生活保健部	生活環境課	

【事業の背景・目的】

中津市は、環境方針”6K”(共生、きれい、快適、教育、継承、協働)を基に、市民参画による「環境共生都市なかつ」の実現を目指します。地域環境の保全と創造に関する施策を総合的・計画的に進めるための枠組みとして、平成29年度より環境基本計画の策定に取り組んでいます。中津市には貴重な自然環境及び希少な動植物が多数生息しています。この豊かな環境を後世に継承するために、今後中津市全体が一体となって行動していく必要があります。

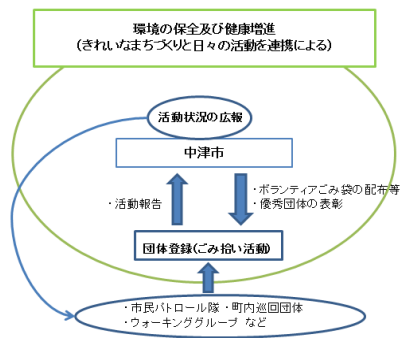
平成30年度、中津市は環境基本計画に基づき、自然環境及び生物の保護、「きれいなまち中津」の実現に向け、3つの事業を実施します。

①「きれいなまち中津」事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,082						1,082

【事業の概要】

誰でも参加しやすい「ごみ拾い活動」を実施します。家族やグループで登録することで、専用のごみ袋を受け取れます。中津市では、ごみ拾い活動状況の紹介や優秀団体への表彰を行います。楽しく「きれいなまちづくり」に参加でき、さらには参加者の健康増進を図ります。



【主な事業費】

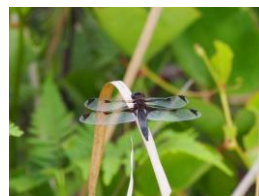
- ・ボランティアごみ袋作成料 990千円
- ・消耗品費 92千円(歩数計、表彰用額)

②【拡充】ベッコウトンボ保護事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,730						1,730

【事業の概要】

中津市には絶滅危惧の指定を受けているベッコウトンボの生息地である、野依新池があります。地域や各種団体、大学と連携し実態把握(個体数調査、生息地水質等調査)、保全活動(池水中草刈)、環境学習(観察会)を実施します。



【主な事業費】

- ・ベッコウトンボ実態調査料 1,294千円
- ・草刈料 400千円
- ・仮設トイレ借上料等 36千円

③【新規】中津干潟調査保全事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,039						1,039

【事業の概要】

中津干潟にはカブトガニやアオギス等、希少な生物が多く生息する豊かな自然環境があります。地域や各種団体と連携し実態把握(生息地水質等調査)、保全活動、環境学習(観察会)を実施します。



【主な事業費】

- ・中津干潟調査保全料 992千円
- ・仮設トイレ借上料等 47千円

【期待される効果】

市民参画、大学及び市民団体との連携により環境に対する活動を行うことにより、市全体に環境意識の向上、機運醸成を図ることができます。

款	総務費	項	総務管理費	(単位:千円)			
事業名	【新規】高齢者運転免許証自主返納支援事業						
市政推進の基本指針	安心づくり	誰もが生き生きと暮らせるまちづくり					
担当部局・所属	生活保健部		生活環境課				
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,128						2,128	

【事業の背景・目的】

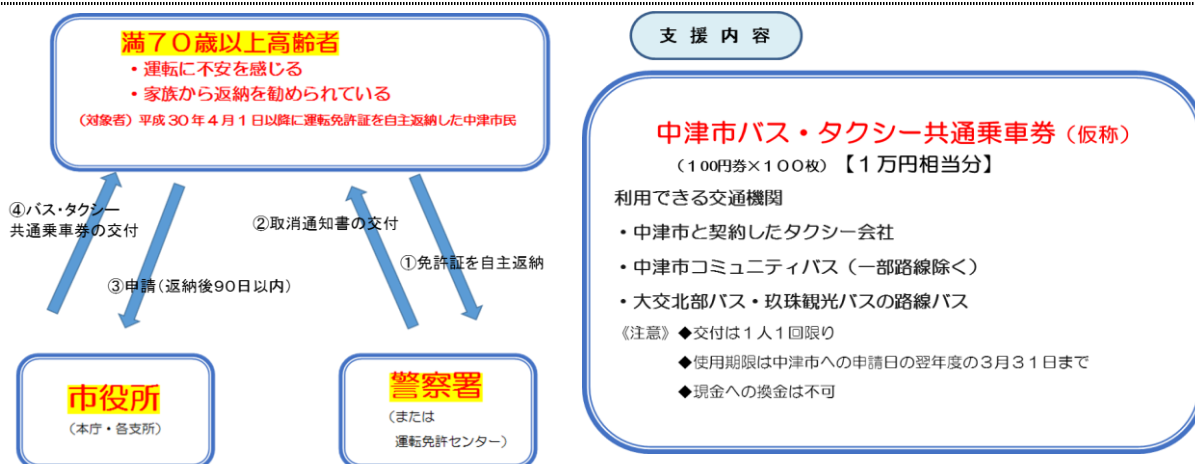
高齢者の運転免許証自主返納支援については、全国的に高齢者が当事者となる交通事故発生件数が増加していることから、車の運転に不安を感じている高齢者本人や、その家族が車の運転や公共交通機関の利用について考えるきっかけ作りを進める機運が高まっています。県内各自治体の取組み状況や、高齢者の交通事故発生状況等から、運転免許証自主返納事業を実施します。

【事業の概要】

運転免許証を自主返納した満70歳以上の高齢者が、返納後90日以内に申請することで、1万円相当のバス・タクシー共通乗車券を1回に限り受け取れます。

【主な事業費】

報償費 2,000千円
印刷製本費 128千円



【期待される効果】

高齢者の方の交通事故を未然に防ぎ、安心・安全なまちづくりにつなげます。

